

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

二学期開始 よいスタートを

いよいよ二学期が開始されました。今年の夏もまた新型コロナの蔓延に振り回され、保護者の皆様や児童の皆さんも、私たち同様に、なかなか落ち着いた日々にはならなかったのではないのでしょうか。いずれにしても二学期のスタートです。運動会をはじめ数多くの行事も予定されています。「よし、頑張るぞ」と感じている人もいれば、「何だか、かったるいな」などと感じている人もいることでしょう。例年、夏休み明けは全国的に小中高とも不登校や問題行動、自殺などが多くみられる時期です。自由な時間が多かった夏休みからなかなか切り替えができなく、不安を抱えているからではないのでしょうか。

学校では、児童の変化を見逃さず、丁寧に、また充実した二学期のスタートを切ることを教職員一同確認し合いました。ご家庭でも十分に目を配っていただき、少しでも不安なところや気になる変化が見られた場合には、すぐにご連絡いただきたいと思います。一緒に考え、力を合わせて、児童のよりよい成長を促せられるようにしていきましょう。引き続き、新型コロナに関する感染防止対策ならびに万が一の場合のご連絡等についても、よろしくお願いいたします。



見学を通して学ぶこと 夏の petit 思い出

夏休みに、南アルプス市徳永にある「トヨタホーム」の工場を見せていただくことができました。名前は知っていても、どんな家づくりをしているのかは全く知りませんでした。

本校の保護者であります大代さんに丁寧に説明いただきながら、作られた家についてや作られる工程について見学させていただきました。その中で心に残ったことは「人の命を大切にする家づくり」ということです。地震などが起きても簡単に壊れないことはもちろんですが、起きてからもできるだけ住み続けられること、なぜなら地震そのものよりもその後の生活の中で命を落としてしまう方が多いから・・・そのためにできる限り安全で快適な家づくりを目指し、多くの工夫や最先端の技術が使われていることがわかりました。

今、社会ではSDGsが謳われ、それぞれの職場で数多くの取組が進められています。人と人との触れ合いによる仕事、地域に密着した仕事、命を扱う仕事、最先端技術、伝統を重んじる仕事、物を育てる仕事、人を喜ばせる仕事、人々の生活を支えている仕事・・・学校を離れていろいろな場所を見学させていただくと、本当に学ぶことばかりです。

10月には本校の3年生も、見学させていただく予定です。

一学期の修学旅行や林間学校、地区探検などに続き、二学期にも生活科見学や社会科見学、記録会などの行事が計画されています。直に触れ、見て、聞いて、体験して、たくさんのことを学んでほしいと思います。

私の夏休みの petit 思い出となりました。



誰でも一番になれるものがある まわりを変えると…

日本で一番高い山の名前は何でしょう。もちろん富士山ですね。では、二番目に高い山の名前は何でしょう。北岳です。山梨県人、特に我々南アルプス市民には、わりとなじみ深い山ですが……。では三番目は？



日本で一番面積の広い都道府県はどこでしょう。もちろん北海道です。では、二番目に広い都道府県はどこでしょうか。答えは岩手県です。三番目に広い都道府県は？日本橋から出発して東海道の二番目の宿場は？

私たちは一番のものはよく知っているけれど、二番、三番…のものはそれほどでもないということがよくあります。ということは、何か一番のものがあると周りからよく覚えてもらえるということです。例えばクラスで一番走るのが速いとか、クラスで一番あいさつの声大きいとか、クラスで一番料理が上手とか……。



でも、こういう話を聞くと「自分には一番のものがないから関係ない」と思ったり、「自分は一番になれないからダメだ」と感じたりする人がいるかもしれません。そんな人におくりたい内容です。前記の二番目に高い北岳は一番目の富士山に比べ知名度がぐっと下がります。でも北岳を一番にする方法があります。それは、**まわりを変える**ということです。富士山は、今まで何度も噴火したことのある火山です。それに対して北岳は火山ではありません。ということは、火山でない山の中で日本一の山は北岳になります。同様に、日本で面積の二番目の岩手県の場合は、「日本」を「本州」に変えてみると一番面積の広い県となります。**まわりを変えてみると、一番になれる可能性はぐっと増えてきます**。クラスで五番目に走るのが速い子でも、女子の中では一番かもしれません。給食の片づけが一番上手な子もいます。兄弟姉妹の中では一番箸の使い方が上手だという子もいることでしょう。挨拶のお辞儀の仕方が登校班では一番丁寧という子も見られます。

こうやって自分の優れているところを自分で見つけて、自分にはこんないいところがあるんだということを自分に教えてあげてほしいと思います。自分の素晴らしいところが一つでも見つかり、自信が生まれます。一つの自信が生まれると、朝顔の種が芽を出し、その芽がだんだんと大きくなっていくように、自信の芽もどんどん大きくなっていくことでしょう。そして、やがてつぼみができてきれいな花が咲くことになるでしょう。人それぞれ、どんな花の形でもいいと思います。どんな大きさでも、どこに咲いてもいいと思います。百田小の児童一人一人が、それぞれにきれいな花を咲かせてくれることを楽しみにしています。大人になると、「こんなつまらないことで」とか「こんなことは自慢じゃない」などと、自然にハードルは上がってしまいます。ぜひお子さんの良いところを見つけたら大きく喜び、精一杯ほめてあげてください。それが自己肯定感につながります。何気ない大人の一言で一生の宝物にもなりますし、一生の傷になることもあります。



自分の一番を見つけたら、仲間の一番探しをしてほしいです。さあ二学期が開始されました。クラス全員が一番を見つけあえれば、きっと素晴らしい学級になり、一生忘れられない仲間になるのではないのでしょうか。私も学級担任の時、「ほめ言葉のシャワー」という取組をしていたことを覚えています。「ほめて伸ばす」、子育ての極意です。